

## 受託事業完了報告 森林総合研究所「森の展示ルーム」

7月24日からスタートした受託事業 森林総合研究所「森の展示ルーム」説明も8月30日無事終了しました。

里山の会の会員が毎日交代で説明員を勤め、25日間で850人の来館者（内つくばちびっ子博士265人）がありました。

一日平均34人と好調で、リピーターの方も多かったようです。森の展示ルームは森林総研の研究成果を分かりやすく展示している小さな博物館で、うしく里山の会が説明員を担当して3年目になりました。毎回展示内容に趣向が凝らされ、来館者とともに我々も大変勉強になりました。今年の見所は、ツキノワグマの剥製、触れる動物の毛皮、木材の浮沈テスト、バイオトイレ等々。そして、来館したちびっ子のために、カブトムシや木材の見本のお土産付きで、大いに盛り上がりました。参加された会員の皆様、本当にご苦労さまでした。  
(記 坂 弘毅)



森林総合研究所「森の展示ルーム」

### 受託事業 森林総合研究所「森の展示ルーム」

## 展示ルーム説明初体験

今回案内人としては初めてだったのでとても緊張しましたが、見にくる子供たちに楽しく見てもらうお手伝いをするということなのでやってみようと思いました。

私は子供が大好きなのでどんな子がくるかな、とワクワクしたものです。そんな中、男の子達3人連れがやってきました。まず虫の標本に興味を示して食い入るように見てました。それとモミジやカエデの種子を紙で作ってクリップで重りをつけ飛ばしてみた時、クルクルと回りながら飛んでいるのを見て何回もやっていました。

子供って面白い。無心な姿に感動しますね。

中でも一番盛り上がっていたのは木材の水実験！

同じ大きさの木なのに、沈み方が違うので、「お～、わ～、あれ～」という声を聞いて、私も一緒にワクワクしました。最後にカブトムシのプレゼント！これは昆虫の先生が森でとってきたという貴重なカブトムシ。

思わぬプレゼントに子供たちは満面笑みで満足して帰っていききました。

慣れない案内人で、期間中2回行いましたが、いい経験をさせて頂きました。  
(記 横山 悦子)

### 雑木林応援隊 プロジェクト

## 応援隊活動報告

8月14日 盛夏、お盆である。

今日は機械の整備と講習。一年いやもっと長い期間使用したままのチェーンソー・刈払機。全て運び出し刃を取り外し回転軸にグリスを注入、刃の裏表を確認し取り付け。刃についているチップが3、4箇所欠けているのですべての刃を交換、またチップが欠けているとバランスが悪くなりブレ振動が生じてくるとのこと、使用してみて振動がある時は、刃の確認と締め付けを行うこと。

次にチェーンソー。ソーチェーン、ガイドバーをはずし、木屑をブラシで取り除く、ガイドバーの溝にオイルが流れるようにしてソーチェーンの張り具合をみながら取り付け完了。試運転を行い今日は終了とした。

社協より紹介された方が一緒に活動したが、物足りなく感じられたことと思われるが9月以降の本格的活動に参加されることを期待したい。

お盆というのに参加された方にご先祖様から薄情者と思われたいことを願う。

9月28日、草木染め。

今日は草木染めの講習、私と郡司さんはみそ汁作りの担当、しかしみなさんに材料の提供、手伝いもしていただく。横で草木染めを行っている、棚に吊るされた作品を見ると、水色でない水色など絵の具にない、やわらかな中間色の色合いが多い。

藍染、原口さんが着ていた、深い色の青（藍）色がない、聞いてみると生葉で染めると緑色になるとのこと。

今日は準備から原口さんに負担が掛かってしまった、なんとか分担できないものか、10月には一般の方と一緒にツルかご講習も予定しているのので考えてみたい。  
(記 飯田)



助成金で購入したリヤカー

平成17年第7回運営会議議事録

日時：平成17年8月6日（土） 9：30～12：00  
 場所：牛久自然観察の森（ボランティア室）  
 参加者：【理事】11名【監事】2名【各P代表】5名【観察の森】3名  
 【アドバイザー】2名

【定足数の確認】議席23名のうち15名出席。本会議は成立。  
 【連絡事項】

1. 里山の会の活動と個人活動の区別。
    - ・現在数人の方が森で下草刈り等の作業を行っているが、会の保険の適用範囲外となるが、森はどのように考えているか。
    - ・森での活動であるので、植物調査ボランティア等の範囲の程度となる。
    - ・それでは機械の使用は限定されるし、緑の保全区は市の土地ではないので保険は適用外となる。
    - ・里山の会として行ったほうがよいが、別働隊は組織できないか。
    - ・幾度か刈り取り、整理を行っていただいて、いま必要な箇所はない。
    - ・来年初パートナーシップ事業を予定しているが、いっしょに出来ないか。
    - \* 一年間を通したパートナーシップ事業を計画し、市民と一緒に出来るよう準備をする。
    - \* 基本的に里山の会員としての活動と森のボランティア活動を明確にし、どちらにも該当しない活動は厳に慎むようプロジェクトリーダーも森も状況を常に把握するようにお願いしたい。
  2. 企業定年退職者の雇用について
    - ・一部企業で退職者を雇用した場合賃金が元の雇用主から支払われる制度がある、しかし、保険通勤費等は現雇用者が支払う。
    - ・里山の会は保険通勤費を支払う余裕はない。
    - \* 今後このような企業がふえてくるだろうし、条件もいろいろできてるだろうから今後の検討とする。
  3. 市民活動ネットワーク
    - ・福祉、子育て、環境等のボランティアが集まって話し合ってきたことがまとまった、3月にイベント実施。目的はボランティアがあつまって市民を主体とした町づくり。
    - \* 会として参加していきたいが、今回は説明だけとする。
  4. その他
    - ・会の運営細則の作成について、事前に素案を読んでいただいていた。先日検討会を行ったので案として提案予定。
    - ・園内活動で出た残枝等を山積みにして置くよりは、焼いて処理したほうが保全のためにはよいのではないか。
- 火気は使用しない施設となっている、伝統行事等運営上必要と認められた場合、法律でも野焼きは禁止である事を念頭に置いて行動すること。  
 ・茨城県緑化推進機構 10万 助成金申請中。

【各P報告】省略

【観察の森より】

今年はハチの事故は。現在までは聞いていない、アシナガバチは今が危ない、夏から秋にかけて藪の中に巣を作るので草刈のときは注意してください。スズメバチは9月ごろから巣がおおきくなって来る、来年の女王バチを育てているので敏感になってくる。各プロジェクトとも活動の際に十分な注意が必要。

里山あるき プロジェクト

# クロマドボタルに会いました

7月25日の奥原のホタル観察が始まりだった。ヘイケボタルが沢山出たので又行こう事になり、横山さんの自治会の子供達と遠山で観察会をした。参加者は大変感動して「牛久に25年住んで初めて見た」「夫と一緒に又見たい」など感想があったので、私達もそのまま観察会を続ける事になった。

上太田、城中と続いたとき、いやにホタルが多い。しかも田んぼより暗い林の林縁だ。光はヘイケより弱い。飛ばない。たくさんいる。何か変？そして捕らえてみてみたら、「エーッ、これが光ってたの」気持ち悪いムカデのような、しかし足は6本だ。後日それは「クロマドボタル」だと確認された。私達はこのホタルになぜか愛着が湧いた。この未知なるものに俄然興味と好奇心が心に弾みをつけた。資料で調べると、オス約10ミリ、メス15ミリ、分布、本州、特に近畿～東北。低山地の里山等に生息し幼虫は陸上で生活。カタツムリなどの巻貝を食べ夏の夜草の上でピカッと光る。成虫は6月中旬～下旬に発生。オスは黒、前胸背板の前縁に窓がありメスは淡黄色で翅が退化、性フェロモンで呼び合う。ヘイケの成虫とクロマドの幼虫を一緒に見ていただなんて又里山の神秘とロマンを知りました。1つ1つの謎の紐を解いた時自然のかけがえのなさを感じた1ヶ月でした。最後の上太田、乾いた涼風が吹きスズムシ、カンタンが鳴きカヤキリも（県のレッドデータ）鳴き秋の気配が近づいていた。

次回9月10日と17日の土曜日（森P 8：30、弁当、雨靴）  
 小林さんの「鳴く虫」もあります。  
 029-873-6562、高野



クロマドボタルの幼虫

雑木林畑隊 プロジェクト

# どれもやさしい色合い…… 草木染め

畑隊の畑にはタデアイが丹誠込めて育てられています。普通、藍染めという発酵したスクモで藍立てをして行う職人技の世界ですが、草の勢いのいい夏のこの時期は生葉を使い簡単に染めることができます。育てていなければ採れないこの贅沢な材料を使い今年も草木染めを行いました。参加は17人。畑のタデアイの他にも準備された材料の草木は、クワ、ヤマモモ、アオギリ、ヤマボウシの実、ブドウの皮、ビワの葉、栗の実、コスモス、タマネギの皮、ブルーベリー、アカネ、キハダ、まだまだ他にもいっぱいあります。講師役の原口（愛）さんにお持ち頂いた作品を参考に、材料の草木を選び各々染め液を作ります。同じ染め液でも、布の材質や媒染（発色と定着を促すために石灰水、食酢、ミョウバン液に浸ける）の違いで、別の色が出ます。染め時間でも変わります。なかなか奥の深い世界です。最後に新しい藤棚に渡されたロープにはためく作品の前で記念撮影。自然からもらった色は、どれも優しい色合いでした。

（記 丸山）



藍の生葉染めの下準備

# 2度目の夏

今日は8月9日、スターウォッチングだ。昨年もこの全国的なイベントに参加した。天文関係の団体の末席に名前を連ねた感動がまたよみがえってきた。夜空の丁度真上に輝く「ベガ」付近の暗い星がどこまで見えるか？を調べるイベントだ。「牛久の空はきれいなはず」と思いながら、星を探す。シーンとしたムジナの里を振り返ると10人の観測者が無心で双眼鏡をのぞいている。苦勞の甲斐があって9.1等星まで観測することができた。そして、いつもながら講師の久保庭さんが望遠鏡でその日に見える天体をみせてくれた。M57リング星雲だ。「やや！ホントだ！ドーナツだ！」こんなオプションもあるからうれしいよね。今日も感動の一日でした。感謝。  
(記 中山)



夜空に見入る参加者達

## そば プロジェクト

# そば種まきました。

8月20日(土) うす曇の種まきには最適な日に、一般参加7人、会員9人で行いました。省力のためうねはつくらず、鋤も使わない。太い竹でスジを作って、種をまき、土をかけて、種ふみ(分かります?)しました。3日目には芽が出て、一週間目には10cmほどに伸びてました。少し残ってしまった6畳ほどの土地には、一般参加の高橋さんから頂いた「ダットンソバ」を27日(土)にまき、秋の花を楽しみにしています。

- 感想
- ・ソバの種が三角形をしていることを始めて知りました。
  - ・ウネをまっすぐに引くのですが、むずかしかったです。
  - ・50余年振りの農作業でした。
  - ・草取りからやっても良かったです。
  - ・説明時はやさしそうだったが、実際は結構腰にきました。
  - ・良い実になればよと念じつつ蒔きました。

次回のそば刈りは、10月29日(土)雨天時30日(日)。  
(記 横山 さえ子)



育ち始めた「そば」

# プロジェクト活動報告

各プロジェクト活動を紹介しています。より詳しくはホームページもしくは森の掲示板をごらんください。



現在3つのプロジェクトがホームページを立ち上げています。アクセスは里山の会HPからリンクしています。

## 受託事業報告 (牛久市観光アヤメ園)

# 株分け真っ最中!

今年4月からスタートしたアヤメ園再生プロジェクトは、花が終わり、第二段階に入っています。6月の開花とその後の花がら摘み、御礼肥、花茎刈り、そして株分けに入っています。今年は開花が半月ほど遅れたため、現在株分けの真っ最中です。毎週月・木の二日間を使って株分けと植え付け。その間、圃場の耕起と畦づくり、除草と連日農家のような忙しさが続いています。株分けも間もなく終わり、次の作業は伸びきった雑草の除草です。今年の春除草された量は、2tトラックで4台分ほど。今回は雑草の生育期ですからこれを大きく上回ることでしょう。そこで、アヤメ園の一部に「堆肥床」を作る予定です。また、メンバーによるアヤメ園の再生構想が次々と生まれています。一年中里の花を咲かせたいとか、田んぼの植物園にしようとか夢は広がるばかりです。  
(記 坂 弘毅)



ただいま「株分け」中

# EM泥ダンゴで水質浄化 “その後”

あやめ園のヒョウタン池に7月14日に入れた(泥ダンゴ)の効果を8月29日(月)にエコライフの川谷さんと検証しました。透明度34cm(もとは30cm)PH6.0でした。ヘドロ臭も水をかき回すとすぐにブワーンとただよかったものが、水中の土をいじった手を鼻先に持ってくればにおう、というようになりよくなっているようです。うれしい!  
(記 横山 さえ子)

# 9月の里山カレンダー

▨ 牛久自然観察の森休園日 NC はネイチャーセンター P は駐車場 PS はパートナーシップ事業 ○ は休日 (受) は受託事業

1	木	アヤメ (受)	8:00 アヤメ園P
2	金		
3	土	運営会議 森のレクチャー	9:30 NC 10:00 NC
4	日		
5	月	アヤメ (受)	8:00 アヤメ園P
6	火		
7	水	雑木林応援隊 (畑)	9:30 (畑)
8	木	アヤメ (受)	8:00 アヤメ園P
9	金		
10	土	里山歩き	8:30 森P
11	日	雑木林応援隊	9:30 NC
12	月	アヤメ (受)	8:00 アヤメ園P
13	火		
14	水	雑木林応援隊 (畑)	9:30 (畑)
15	木	アヤメ (受) ありんこクラブ	8:00 アヤメ園P 10:00 NC

16	金	PSホテル 里山百選	9:00 NC 9:30 中央学習センターP
17	土		
18	日		
19	月	アヤメ (受)	8:00 アヤメ園P
20	火		
21	水		
22	木	雑木林応援隊 (畑) アヤメ (受)	9:30 (畑) 8:00 アヤメ園P
23	金	PS里山聞き取り	9:00 NC
24	土		
25	日	雑木林応援隊	9:30 ムジナの里
26	月	アヤメ (受) 会報原稿締め切り	8:00 アヤメ園P
27	火		
28	水	会報編集 雑木林応援隊 (畑)	10:00 山田宅 9:30 (畑)
29	木	アヤメ (受) 会報発送	8:00 アヤメ園P 10:00 ポラセン
30	金		

変更になる場合があります。HPを参考にご覧ください。

※ 会報の編集発行は変更になる場合があります。



## お知らせ



### ● つるでカゴを作ってみませんか

フジ、アケビなどのつる植物をつかって籠を作ってみませんか、樹木にとっては迷惑なつる植物、でも上手に利用すれば、花器を入れてお部屋の飾りにも、貴方しだいでアートになるかも。

日 時：10月16日 (日) 9時30分～14時ごろ

場 所：自然観察の森駐車場奥、炭小屋前集合

持ち物：枝切バサミ (料理ハサミでも可)、軍手、飲み物、お弁当、お椀、おはし。

\* ご近所に使えそうなツルがあったら持参ください。

費 用：200円 (保険代含む)

申し込み：先着20名とします。

申し込み先：うしく里山の会 u\_satoyama@infoseek.jp

10月5日より 19時～21時まで080-1198-3678 飯田

### ● 広報委員会委員 募集

会報やポスター、パンフ、HP等を創ります。

記事の取材や撮影、DTPに興味のある方、一緒に活動しませんか。

取材等は随時、会報制作は主に月末になります。

編集経験者、デジカメ大好き人間、Mac環境の方大歓迎！！

気軽に連絡してください。

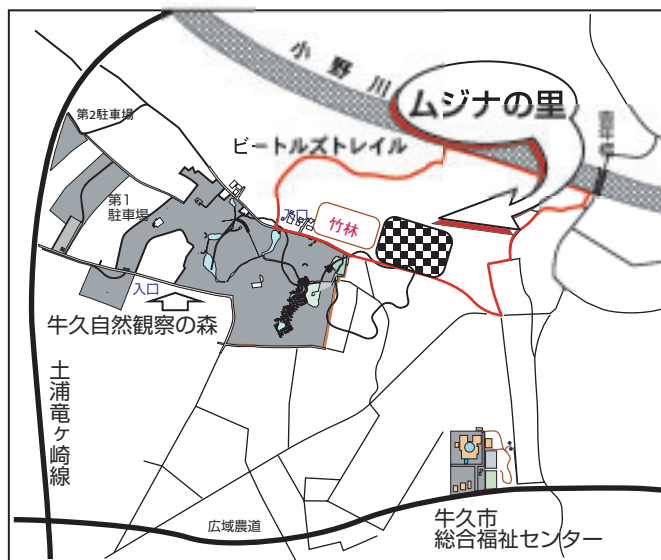
うしく里山の会メール：u\_satoyama@infoseek.jp

丸山 0297-66-4876

山田 029-872-9202

### ● ムジナの里の地図

何度か記事や話に出てきた「ムジナの里」は下記の場所です。



会報のお問い合わせは 広報委員会 丸山 0297-66-4876 または  
山田 029-872-9202 迄ご連絡ください。